平成 30 年 1 月 1 日

報道関係各位

北海道鉄道観光資源研究会

北海道・鉄道史の誇り。往年の**「特急おおぞら」**を**国鉄色**で未来へ
スラントノーズ型・キハ 183 保存プロジェクト 情報発信へのご協力のお願い

新春の候、ますますご健勝のことお慶び申し上げます。
さてこの度、北海道鉄道観光資源研究会では、2018 年３月で現役を引退するスラントノーズ型キハ 183 系保存に向けたクラウドファンディングを開始いたしました。資金調達に成功した場合、この車両は 2019 年春 OPEN 予定の「道の駅あびら(仮称)」で、鉄道文化を伝える存在として、第２の人生を歩むことができます。

クラウドファンディング・プロジェクトページ　https://readyfor.jp/projects/kiha183ozora
プレスリリース・写真画像はこちら　http://rail-hokkaido.net/archives/265

つきましては、本プロジェクトの趣旨にご賛同いただき、成功に向けて、情報発信などに広くご協力いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

記

1 事業概要について
〔プロジェクト名称〕: 北海道・鉄道史の誇り。
往年の「特急おおぞら」を国鉄色で未来へ

〔背　景〕:「2018 年３月引退予定の保存予定がない特急キハ 183 を何とか後世に残したい。」
「2019 年春に D51 蒸気機関車を目玉に開業する道の駅にさらに特色を持たせたい。」
「高齢化が進む SL 保存協力会の技術や経験を若い世代に引き継ぎたい。」
これらの課題を解決するために、クラウドファンディングを使って、注目度と希少価値、保存の意義の高い特急車両を購入し、活用するプロジェクトを始めました。

〔概　要〕: 北海道鉄道観光資源研究会では、2018 年３月で現役を引退するスラントノーズ型キハ 183 系保存に向けたクラウドファンディングを開始いたしました。資金調達に成功した場合、JR 北海道より特急気動車キハ 183 系車両を譲り受け、往年の国鉄特急色(クリーム色と赤色のツートンカラー)に復元の上、2019 年春開業予定の**「道の駅あびら(仮称)」**で、鉄道文化を伝える存在として、蒸気機関車 D51 320 号機と一緒に第２の人生を歩むことができます。
クラウドファンディングプロジェクトページ：
https://readyfor.jp/projects/kiha183ozora

〔実施期間〕: 2018 年 1 月 1 日 0 時 00 分～3 月 30 日 23 時 00 分(88 日間)

〔目標額〕: 610 万円　（※達成できない場合は返金、プロジェクトは中止となります）
（第２目標：1100 万円達成した場合、現 安平町鉄道資料館（旧追分機関区）にさらにもう１両保存）

１．譲渡車両、数量　キハ 183 系気動車両　2両（最大）
２．開業年月　平成 31 年春
３．保存場所
・勇払郡安平町追分柏が丘 49 番地１（安平町道の駅建設地　町有地）
・勇払郡安平町追分白樺２丁目 14 番地（安平町鉄道資料館　町有地）
４．活用方法
・１両目は、現在工事中の安平町道の駅に併設して建設する新安平町鉄道資料館横に屋外展示（静態保存）して、鉄道資料館来館者及び道の駅利用者へ鉄道文化を伝えるため一般公開する。
・２両目は、現鉄道資料館建物内へ保管して、現役時の状態を維持し保存する。

＜3 つの特長＞
１：保存予定がない特急車両キハ 183 を、国鉄カラーで道の駅に SL と一緒に残すことができます。
２：安平町が全面バックアップ。2018 年１月７日から町の HP に当プロジェクト応援特設サイト開設予定。
北海道勇払郡安平町　　http://www.town.abira.lg.jp
３：鉄道愛好家の任意団体が地方自治体と共同でクラウドファンディングに挑戦。

〔今後の展望〕：
2019 年春に道の駅開業後、「キハ 183・特急おおぞら保存会」を立ち上げ、「安平町追分 SL 保存協力会」とともに、「北海道の鉄道技術と文化の伝承と発信基地」として、維持・保存活動と集客活用を行います。

【北海道鉄道観光資源研究会について】
〒060-0002 北海道札幌市中央区北２条西２丁目 ほっとバス内
代表：永山茂
Tel：080-4322-9219（事務局長 長野博樹）
URL：http://rail-hokkaido.net/
事業内容：鉄道資産・遺産を地域の賑わいや旅の味わいとして磨きをかける事業

本件に関するお問い合わせ先
北海道鉄道観光資源研究会　事務局次長 矢野 友宏 090-6213-5601 個人携帯）
（メールアドレス：yano.tomohiro@nifty.com　）

2018 年 3 月に完全引退・全車解体危機のスラントノーズ型 キハ 183

～北海道・鉄道史の誇り。往年の「特急おおぞら」を国鉄色で未来へ～

『スラントノーズ型キハ 183 保存プロジェクト』始動

北海道鉄道観光資源研究会は、汽車旅や鉄道の模型・歴史・撮影をはじめ、様々なジャンルの鉄道愛好家による任意団体です。「地域の賑わいや、旅の味わいを感じることができる演出」を目的に、北海道の現役鉄路や鉄道遺構を含め、すべての鉄道を観光資源と捉え、それらに磨きをかけることで多くの方々に認知と活用をしたいただく活動をしています。

キハ 183 系は、寒冷地である北海道向けに、1979 年に開発された特急用気動車で、1981 年に新しく開業する石勝線とともに、北海道の鉄道体系の「新時代幕開けの象徴」として、華々しく登場しました。デビュー当時はクリームと赤のツートンカラー。そして、国鉄時代の伝統である、逆三角形の「特急シンボルマーク」を掲げ、「特急おおぞら」は函館発・釧路行きのロングラン列車としてまさに、北海道の鉄道の代表格たる存在でした。

青春の旅の記憶。進学の記憶。就職・転勤の記憶。家族の記憶――。
39 年もの長きにわたり、私たちの思い出とともに活躍してくれました。

しかしその車両が、もうすぐ 1 両残らず姿を消そうとしています。博物館にも残らず、1 両も保存予定がない……。それは、あまりにも寂しく、あまりにもったいないことではありませんか。そんな切なる思いで立ち上げたのが、今回のプロジェクトです。このクラウドファンディングが成功すれば、キハ 183 は、鉄道の町・北海道勇払郡安平町（あびらちょう＝国鉄現役 SL 最後の「追分機関区」があった町）に建設中の「道の駅あびら(仮称)」に展示させていただけることになりました。

当会では、2015 年 3 月に、北海道初の国鉄交流電車 711 系について、クラウドファンディング（「47 年間愛されて引退した北海道初の電車『赤電』を残したい！」）という手法で保存を成功させており、同じ方法でこの「キハ 183 系」という貴重な特急車両をデビュー当時の塗装に復元して保存し、後世に向けて活用したいと考えました。

ただ、資金が集まり切らなければ、計画は夢と消えます。まさしく北海道の一時代を築いた特急「スラントノーズ型」キハ 183。引退後は、北海道鉄道の歴史を伝えるために活用したい。みなさまの思いを、託していただけませんでしょうか。このプロジェクトについて、ひとりでも多くの方々に知っていただきたく、情報発信へのご協力をよろしくお願い申し上げます。

北海道鉄道観光資源研究会　事務局次長　矢野友宏

スラントノーズ型

全車解体危機のキハ183を保存したい！

北海道・鉄道史の誇り、往年の「特急おおぞら」を国鉄色で未来へ

https://readyfor.jp/projects/kiha183ozora

クラウドファンディング挑戦中！

期間 88日間

2018(平成30)年
1月1日(月)～3月30日(金)

期間内に第１目標額が集まらなかった場合、全額返金。
プロジェクトは中止となります。

Readyfor

資金調達に成功した場合、2019年春OPEN予定の「道の駅あびら(仮称)」で鉄道文化を伝える存在として、第２の人生を歩むことができます！

安平町では、屈指の保存状態を誇る蒸気機関車D51 320号機をメインに「鉄道をテーマとした」道の駅を作ります。北海道鉄道観光資源研究会の取り組みに、全国の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

安平町長　瀧 孝

キハ183　D51 320

プロジェクト名

「北海道・鉄道史の誇り。往年の「特急おおぞら」を国鉄色で未来へ」

期　間	2018(平成30)年1月1日(月)～3月30日(金)　88日間
目標金額	610万円 ▸▸ 第２目標金額 1,100万円
募集サイトURL	https://readyfor.jp/projects/kiha183ozora
支援方法	募集サイトにアクセスし、登録・ログインの上、Web上のシステムに従い入金。

第２目標金額（1,100万円）を達成した場合、安平町鉄道資料館（旧追分機関区）に**さらにもう１両保存します。**

期間内に第１目標額が集まらなかった場合、全額返金。プロジェクトは中止となります。

鉄道を通じて、地域の賑わいや、旅の味わいを感じることができる演出を…

北海道鉄道観光資源研究会

担当：事務局次長　矢野友宏　090-6213-5601
yano.tomohiro@nifty.com

D51 320が移設される予定の新「(仮称)道の駅あびら」完成予想図。
この企画が成功した場合、ここに描かれているスハ45客車の場所にキハ183系を設置します。

逆三角形の「特急シンボルマーク」を掲げ、クリームと赤の「国鉄特急色」を纏ったキハ183系　特急「おおぞら」（撮影：上田哲郎）

新製後、石勝線開業に向けて試運転を繰り返すキハ183系の試作車。（撮影：上田哲郎）

国鉄特急色でリバイバル運転された際、生田原駅で行き違う新旧の特急「オホーツク」。

現在のグレーと紫色のキハ183系と、クリームと赤の「国鉄特急色」に復刻されたキハ183系

183系特急気動車「おおぞら」運転記念 しおり

安平町追分SL保存協力会

安平町長　　瀧 孝

石勝線開業日の追分駅

石勝線　開業記念ポスター